

チャレンジ！！オープンガバナンス 2021 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	5-1-5	室蘭の、交通をもっと便利にしたい！	室蘭
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	室蘭の観光を自転車で楽しくする「ランクル」とレンタサイクリング		

（注1） 地域課題タイトルは、COG2021 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2） アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	Leaders		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	4名		
代表者（公開）	福島祥之		
メンバー（公開）	土田快斗 野宮綾香 根本夏実		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2021_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2021 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2021@pp.u-tokyo.ac.jp

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示） 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示－非営利） 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アトバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認 ○

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの理由、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいても結構です。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

室蘭の観光における交通手段が不便であること

<この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

自転車移動する観光客を対象に、移動を楽しく「イベント化」するレンタサイクルの仕組みとアプリを提供する。

「誰が」：室蘭にて小回りのきく観光を求める観光客

「いつ」：無雪期に室蘭市内を移動するとき

「どこで」：室蘭駅周辺を拠点に地球岬～絵鞆エリアを幅広くカバーする

「どのように」：レンタサイクルシステムと自転車観光用アプリの提供

• レンタサイクル

室蘭駅付近にレンタルサイクルスペースと充電スポットを設置する。室蘭はアップダウンの多い街であるため、電動自転車を使用する。



図 1 自転車を用いたときの室蘭駅とその周辺の代表的な観光地の移動時間

室蘭駅は、自転車だと白鳥大橋まで 18 分、地球岬まで 25 分の距離にあり室蘭の主要な観光地を巡るにはちょうど良い立地となっている。測量山や外海の景色にもアクセスしやすい場所であり、室蘭駅を起点とした

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

観光の計画も立てやすい。白鳥大橋や道の駅がある絵鞆エリアと、地球岬エリアをつなぐ中継地点としても活用できる。

- 自転車観光用アプリ「ランクル」

自転車は、車や徒歩と違って移動中の景色を楽しめる速度で匂いや風をダイレクトに感じることができ、室蘭の魅力である「優れた自然景観」を満喫するためには最適な手段である。

交差点では画面、運転中では音声をメインとして、画面と音声の両方でナビゲーションを行う。

音声では、住民目線による室蘭のおすすめ情報やトリビアを配信する。

利用者のデータを収集し、提案の精度を改善する。

交差点ではどちらの方向に進めばいいかをスマートフォンの画面上に表示するが、行き先を決めるのは基本的に観光客自身を想定している。利用者のデータを収集し、提案の精度を改善する。

観光客自身がルートを決め、そのデータが蓄積されるにつれて観光客視点で提案された新たな室蘭の魅力が発掘されることも期待する。



図 2 室蘭専用のサイクリング案内アプリ「ランクル」の主要な画面

図 1.

室蘭市には素晴らしい自然景観や工場風景、室蘭ならではの歴史遺産など、掘り起こされていない魅力が詰まっている。

それらの魅力をただの「移動」として通過してしまわずに、自転車観光用アプリを通してイベント化することでその人にしかできない室蘭での経験を特別感あるものに変えてもらえると考えます。

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ） について、それを サポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内 で説

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>



現在の室蘭の主要な公共交通機関は左図の3つである。この3つの交通手段のうち、バスとJRに関しては移動できる場所や時間に限りがある。以下の図はバスの不満に関する調査結果であり、「乗りたい時間に運行」「どのバスに乗ればよいか」という点で課題があることがわかる。また、タクシーは移動の自由度は高いものの、呼び出す手間や運賃の面で課題がある。

図 3 室蘭の主な交通手段



※ 不満度：満足度評価における回答者の内「やや不満、不満」を回答した割合で算出

資料：2018（平成30）年3月 室蘭市地域公共交通アンケート

図 4 室蘭におけるバスへの不満についての統計（1）

これは室蘭市在住の方を対象としたアンケートの結果であり、観光客に向けたものではない。しかし、観光客は室蘭市のバスについてほとんど知らない上、頻りに移動を繰り返すことから、同様の不満を持っている可能性が高い。

課題

- 室蘭の旅行者（特に自家用車を使わない方）の交通手段の自由度が低い
- 移動も楽しみながら観光してもらいたい

解決手段

1. レンタサイクリング

上記のように既存の交通手段には複数の課題がある。私達は観光に絞って考えた場合、自転車を用いることでこの課題を解決できるのではないかと考えた。自転車であれば、自由に移動ができる上、店舗などの近くに置いておくことも用意である。室蘭駅に周辺に観光地が集中しており、室蘭駅から自転車で 30 分以内に移動できる点も、室蘭で自転車を用いる利点となっている。しかし、室蘭市にはレンタサイクリングを実施している店舗や機関がほとんど存在しない（3）。そのため、自転車を利用できる観光客は、遠方から自転車で来る、もしくは折りたたみ自転車など小型の自転車を持ち運ぶ必要がある。自転車の利用を促すためには、レンタサイクリングサービスを提供し、気軽に自転車を利用できるようにする必要があると考えた。観光客は、レンタサイクリングを利用することで、短時間で室蘭の各地を巡ることが可能になる。

また近年、国内の自転車利用者が増加しており、北海道でも自転車を観光に活用するサイクルツーリズムが検討されている（2）。自転車を利用する外国人観光客も増えていることから、このような層を室蘭に取り込む事ができるのではないかと考えた。

2. 室蘭専用自転車案内アプリ「ランクル」

このアプリの目的は、自転車で室蘭を巡る観光客に快適さと楽しさを与えることである。室蘭は観光地があちこちに散っている上、坂の激しい場所もあるため、快適に自転車を利用してもらうためには補助が必要であると考えた。案内に関しては自転車での利用となるため、最低限の表示と音声で行う。また、室蘭をよく知ってもらい、店舗などの案内をするために、室蘭のローカルな情報を音声で提供する。この他に、坂道なども考慮したルートを自動で提案してくれる機能などを取り入れることで快適に自転車を利用できるようにする。

脚注

(1) 室蘭市地域公共交通網形成計画（平成 31 年 3 月） p.24 より引用

(2) サイクルツーリズムを取り巻く環境・委員会の検討範囲 p.1 より引用

(3) TABIRAN 室蘭八景 & 工業地帯コース <https://tabi-rin.com/archives/course/22989> より 1 店舗でレンタサイクリングが行われていることを確認した。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず＞

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 実現する主体

室蘭市

2. 実現に必要な資源

＜ヒト＞

- 旅行者（単身）
- アプリ開発者 何人
- 自転車のメンテナンス職人
- レンタルスペースの管理人 2人/日

＜モノ＞

- 室蘭の自然、観光地、景観
- 室蘭駅付近の自転車レンタルスペース
- 電動自転車（初期5台）、および充電スポット

充電スポットはレンタルスペースに設置。充電が駅のみでは不十分な場合は各所と連携して随時設置

初期費用		
項目	内容	費用(万円)
自転車関係	自転車本体・充電器・スタンド	50
アプリ関係	決済システム・マップ・デザイン(持ち込み)・音声	105
人件費	PG・SE(6か月)	1050
広告費	チラシ	4
	計	1204

＜カネ＞

調達方法～

- クラウドファンディング
→道内外含む多くの人に知ってもらいきっかけになる
- 大学委託（アプリ開発）
→学生活動の活性化、研究内容、大学のアピールになる

年間収支		
項目	維持費	費用(万円)
自転車関係	メンテナンス・電気代	11.7
アプリ関係	運用・保守(iOS/Android)	1.3
人件費	現地管理人(冬を除く243日)	254
	収入	
レンタル料	1回500円・1日10回	123
広告	200円/1000回	12
	計	-132

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

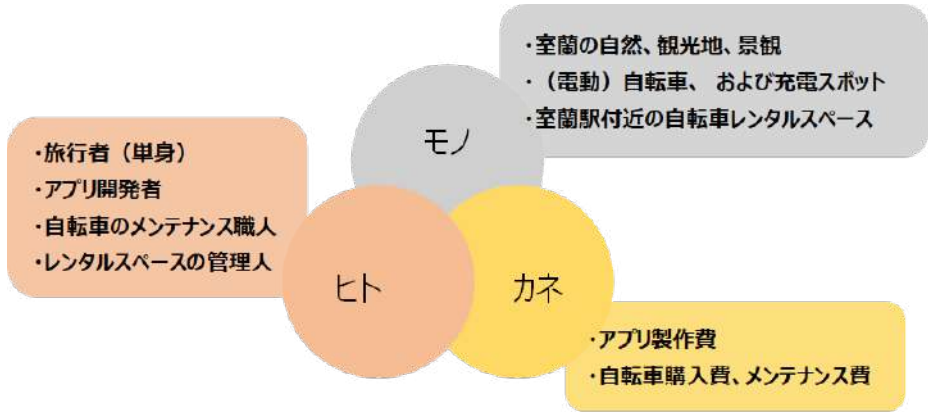


図 5 ヒト・モノ・カネの概要

3. 実現にいたるまでのプロセス

